

平成 28 年度 NPO 法人もったいない学会通常総会

日 時 2016 年 6 月 2 日 (木) 14 時 30 分から 15 時まで

場 所 東京大学山上会館会議室 201・202

【総会資料】

■ 次第

1. 開会

2. 総会成立要件の確認

定款第 26 条により、総会は、正会員総数の 2 分の 1 以上の出席がなければ開会することはできない、とあります。

3. 会長挨拶

4. 議長の選出

定款第 25 条により、総会の議長は、その総会に出席した正会員の中から選出する、とあります。

5. 議題審議

定款第 27 条により、総会の議事は、この定款に規定するもののほか、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる、とあります。

- (1) 第 1 号議案 平成 27 年度事業報告及び決算報告の件
- (2) 第 2 号議案 平成 28 年度事業計画及び予算計画の件
- (3) 第 3 号議案 役員(理事・監事)の選任の件
- (4) 第 4 号議案 議事録署名人選任に関する件

第1号議案 平成27年度事業報告及び決算報告の件

I. 平成27年度事業報告

(概況)

皆様のご支援、ご協力のもと、社会に貢献できる学会に発展させるべく、平成27も精力的に活動を行いました。

以下に活動状況の詳細をご報告いたします。

【参考：定款で定められている学会の目的は以下の通りです】

「この法人は、広く一般市民に“石油ピーク”を啓蒙し、石油を大切に使う方策を検討し、その知識、知恵を広く一般に広げることによって、心豊かな社会の実現に寄与することを目的とする。」

1. 学会事業活動

1) シンポジウムの開催

シンポジウム開催無し。

2) サロンの開催

以下のように、4回のサロンを実施した。

2-1) 第1回サロン

【日時】2015年5月8日(金) 15:30-17:00

【会場】東京大学山上会館会議室201・202

【プログラム】

15:20-15:30「挨拶」石井吉徳会長(東京大学名誉教授、元国立環境研究所所長)

15:30-16:30「日本の新しい大学は地方の公立大学が担う」福田正己(北海道大学名誉教授・福山市立大学名誉教授)

2-2) 第2回サロン「国際政治をめぐる最近の情勢を考える」

【日時】2015年7月4日(土) 15:30-17:00

【会場】清泉女子大学 1号館3階 133教室

【プログラム】

15:30-15:35 話題提供者紹介

15:35-16:30「世界は破綻してしまったのか?～来たるべき混乱期への向き合い方～」山本達也(清泉女子大学文学部地球市民学科准教授)

2-3) 第3回サロン「緊急報告 福島原発被災後の生涯に渡る放射能汚染と健康影響」

【日時】2015年9月16日(水) 15:00-17:00

【会場】清泉女子大学 1号館3階 133教室

【プログラム】

15:00-15:05 趣旨説明

15:05-15:35 「学ぶほどに深まる疑念、放射能被害、核廃棄物、六カ所村再処理・核燃料サイクル」石井吉徳(元国立環境研究所所長・もったいない学会会長)

15:35-16:30 「福島原発事故被災と健康の将来」安藤満(元国立環境研究所総合研究官・日本農村医学研究所客員研究員)

2-4) 第4回サロン

【日時】2015年12月1日(火) 14:40-17:00

【会場】東京大学山上会館会議室201・202

【プログラム】

14:40-15:30 「日本の未来、「老楽の国家、社会」を考える」石井吉徳(もったいない学会会長 東京大学名誉教授 元国立環境研究所所長)

15:40-16:45 「15年後の都市交通はどうなるのだろう?」五十嵐敏郎

3) 第2回学術・事例報告大会 地球から見た人間・人間から見た地球～地球とのつきあい方を科学する～

【日時】2016年1月23日(土曜日)

【会場】清泉女子大学

プログラム

≪午前部≫

9:00-12:00 共通論題「地球から見た人間・人間から見た地球」

司会進行 山本達也（もったいない学会理事）

「地球物理学者の視点から」 石井吉徳（東京大学名誉教授、元国立環境研究所所長）

「哲学者および神父の視点から」 原田雅樹（清泉女子大学）

「海洋冒険家の視点から」 八幡暁（海洋冒険家）

≪午後部≫

13:30-15:15 セッション1（学術セッション1）

コーディネーター：大谷正幸（金沢美術工芸大学）

セッションタイトル：何が人々の「行動」を阻んでいるのか？

司会者：山本達也（清泉女子大学）

報告者：

田村八洲夫（川崎地質（株）） 「変革の行動を促す『もったいない学』の一分野に関する試論」

長谷川浩（福島県喜多方市在住・農学博士） 「持続可能な生き方としての食べ物とエネルギーの自産自消」

辻村琴美（新江州（株）循環型社会システム研究所） 「滋賀県立大学地域資源・エネルギーコーディネーター育成プログラム（USP-RREC）の取り組み」

討論者：大谷正幸（金沢美術工芸大学）

13:15-15:15 セッション2

セッションタイトル：地方衰退の悪循環からの脱却

コーディネーター：大久保泰邦（産業技術総合研究所）

報告者：

芦田 謙（京都大学名誉教授） 「持続可能・地方分散型社会構築の実践」

石川 宏（ナチュラル研究所） 「10年間の気象観測と歴史上の気候変動から温暖化を考察する」

廿日出 郁夫（竹文化振興協会広島県支部会員） 「平成竹取物語」

合田 真（日本植物燃料株式会社） 「辺境からの新社会システム構築：アフリカからの実践」

討論：

司会者：大久保泰邦

パネラー：芦田 謙（京都大学名誉教授）、石川 宏（ナチュラル研究所）、廿日出 郁夫（竹文化振興協会広島県支部会員）、合田 真（日本植物燃料株式会社）、久保田 宏（東京工業大学名誉教授）

13:30-15:15 セッション3（若者セッション）

コーディネーター：鈴木秀顕（ノースアジア大学）

セッションタイトル：未来社会会議

基調報告：鈴木秀顕（ノースアジア大学）

ワールドカフェ形式でのディスカッション：「もったいない学体系のフレームワークに関する考察—サービスマーケティング論・コンテンツ産業論の観点から—」

15:30-17:15 セッション4 ワークショップ

コーディネーター：大場紀章（（株）テクノバ）

セッションタイトル：省エネのジレンマを考える

15:30-17:15 セッション5（縮小社会研究会セッション）

コーディネーター：松久寛（京都大学名誉教授・縮小社会研究会代表理事）

セッションタイトル：縮小社会の必然性

基調報告：松久寛（京都大学名誉教授・縮小社会研究会） 「縮小社会の必然性」

報告者：

三木卓（ナチュラルヴィレッジ（株）） 「エゴとお金の構造と縮小社会」

瀬野喜代（荒川区会議員） 「政治で縮小を言えるのか」

山本達也（清泉女子大学） 「縮小社会における情報と民主主義」

新津尚子（幸せ経済社会研究所） 「縮小社会における幸せとは」 _

5)その他の啓蒙活動として、コラムサイト（シフトム）を通じた情報発信、シンポジウム・サロン講演資料の会員限定公開を実施した。

2. 学会運営に関する会議の開催

1) 理事会

- ・4回開催。

(平成27年5月8日、7月4日、9月16日、12月1日)

- ・適宜メール審議

※理事会議事録は学会HPで公開しております。

2) 総会

通常総会を1回開催した(平成27年5月8日)。

3. 会員の状況

会員の現況(平成28年3月31日現在)

※カッコ書きは前年度

正会員：126名(130名)

一般会員：108名(106名)

学生会員：2名(2名)

賛助会員：2名(3名)

計：238名(241名)

II. 平成27年度決算報告

下記資料を参照下さい。

- ・収支計算書(案)
- ・貸借対照表(案)
- ・財産目録(案)
- ・監査報告書

第2号議案 平成28年度事業計画及び予算計画の件

平成28年度事業計画(案)

【方針】石油ピークが早晚、石油減耗に至る転換期にあるとの時代認識を共有し、自然と共生する低エネルギー社会などの理念の実現に向けて、社会へ情報発信を行う。具体的には、理解のためには専門的知識を必要とする社会に生きるさまざまな資源、エネルギー、環境に関する科学・技術を科学的、中立的に研究し、その成果を体系的にかつ国民が理解できる内容でまとめて発信して、平和的な文明転換の国民的な活動強化に貢献する。

具体的には入会金と年会費無料の「支援会員」を設け、積極的にSNSで公開されている動画、インターネットでアクセスできる優れた報文、優れた書籍などを紹介し、情報を共有する会員を増やす。さらに学術大会、シンポジウム、サロンを開催して成果をまとめ、もったいない学会の電子出版としてインターネットを通じて公開し、有料会員を増やす。

1. 学会事業活動

1) 学会WEBの発信力向上

調和性・戦略性を十分吟味することにより情報発信力の向上につとめ、信頼・支持される学会WEBを構築する。学会WEB、コラムサーバ等におけるコンテンツ内容・構成の工夫に努める。28年度の具体的取組として、

- ・ホームページの構造と内容の改善および運用方法改善による学会の基本的情報活動強化
- ・学会コラム誌シフトムの機能改善、および学会役員、会員の投稿の強化。学会役員の目標投稿数の設定。
- ・SNS(Facebook, Twitter等)への学会役員、会員の参画の拡充

2) シンポジウムの開催

平成28年度中にシンポジウムを1回以上程度開催する。東京一極集中から地方分散の考えを踏まえ、その際地域での普及も重視した地方開催も予定する。

3) サロンの開催

平成28年度中にサロンを4回程度開催する。

4) 学術及び活動報告大会の開催

会員の活動発表の場として、平成 28 年度中に 1 回程度開催する。内容案は別途検討する。
(必要があれば大会実行員会を編成する)

5) 出版事業

・WEB 会誌発行

「もったいない学会 WEB 学会誌」の編集・公開業務を行う。特集号を企画する等して論理深度を深める。

・啓蒙・教育を目的とした新規刊行物の作成・出版・販売として電子出版事業を、国際的な発行を含めて計画する。

6) 表彰など

顕著な事業を行っている活動者・団体を顕彰する。

2. 学会運営に関する会議の開催

1) 理事会

平成 28 年度中に 5 回程度開催する。

・学会の活動の執行機関として、理事の役割分担と協同の体勢の向上を図り、会員と社会の真の進歩に貢献する。

2) 総会

通常総会を 1 回開催し、必要に応じて臨時総会を開催する。

平成 28 年度事業予算計画 (案)

平成 28 年度 予算 (案)		(単位：円)	
収入の部		支出の部	
項目	予算	項目	予算
会費収入	620,000	事業費	400,000
正・一般・学生会員	572,000	シンポ・サロン・講演会開催費	50,000
賛助会員	30,000	WEB サーバレンタル・管理費	250,000
正会員入会金	18,000	新規刊行物作成費	0
		学術・事例報告大会開催費	100,000
事業収入	10,000		
書籍販売	10,000		
		管理費	290,000
		事務作業委託費(印刷・通信費含)	265,000
		振込手数料	10,000
		消耗品費	10,000
		租税公課	5,000
小計	630,000	小計	690,000
昨年度からの繰越金	1,245,402	予備費	1,185,402
収入合計	1,875,402	支出合計	1,875,402

第 3 号議案 役員 (理事・監事) の選任の件

次の方々を理事・監事に選任したいと思っておりますので、ご検討よろしくお願いいたします。

理事

芦田 謙 京都大学名誉教授

安藤 満 日本農村医学研究所客員研究員

五十嵐敏郎 京都大学・金沢大学

大久保 泰邦 産業技術総合研究所

久保田 宏 東京工業大学名誉教授

鈴木 秀顕 ノースアジア大学

田村 八洲夫 川崎地質株式会社

辻村 琴美 新江州（株）

林 農 鳥取大学名誉教授

福田正己 北海道大学名誉教授（福山市立大学名誉教授）

松島 潤 東京大学准教授

山本 達也 清泉女子大学

監事

佐藤 裕久 株式会社ニューテクノロジー

6. 議事録署名人選任

定款第 29 条（総会の議事録）により、議事録には、議長及び総会において選任された議事録署名人 2 人が、記名押印又は署名しなければならない、とあります。議事録署名人について、議長より本日出席の正会員の 2 名を指名し、お諮りします。

7. 閉会